情報処理 1

IPSJ MAGAZINE
情報処理学会誌

Vol.48 No.1 2007年1月
通巻503号

● CONTENTS ●

特集 Special Features 安全と安心のための画像処理技術

Image Processing Technology for Safety and Security

1 編集にあたって　前田賢一・土井美和子
Foreword *Ken-ichi MAEDA and Miwako DOI (Toshiba Corp.)*

3 1. 危険を察知する車載画像処理技術　中井宏章・前田賢一
Image Processing Technologies for Safe Driving Assistance *Hiroaki NAKAI and Ken-ichi MAEDA (Toshiba Corp.)*

10 2. 鉄道と乗降客の安全を確保する画像認識技術 ー踏切，ホーム端からの転落防止ー　依田育士
Image Processing Technology for Advanced Safety to People in Railroad Transportation - For Railroad Crossing and Station Platform - *Ikushi YODA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))*

17 3. 画像によるエレベータ内異常検知技術　鷲見和彦・関真規人・塩崎秀樹
Video Analysis Technology for Elevator Cage Abnormality Detection *Kazuhiko SUMI, Makito SEKI (Mitsubishi Electric Corp.) and Hideki SHIOZAKI (Mitsubishi Electric Building Techno-service Co, Ltd.)*

23 4. 画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー　安部伸治・内海　章・桑原教彰
Networked Interaction Therapy which Supports Memory-Impaired People based on Image Recognition *Shinji ABE, Akira UTSUMI and Noriaki KUWAHARA (ATR Intelligent Robotics and Communication Labs.)*

30 5. プライバシーを考慮した映像サーベイランス　馬場口登
Video Surveillance Considering Privacy *Noboru BABAGUCHI (Osaka Univ.)*

37 6. 人物を認識することの法的問題点 ～監視カメラシステムの設置運用基準～　小林正啓
Legal Problems and Solutions about Network Surveillance System *Masahiro KOBAYASHI (Hanamizuki Law Office)*

講演 Lectures

48 IEEE-CS コンピュータ・パイオニア・アワード受賞講演　穂坂　衛
Manuscript of My Award Winning Speech at the Banquet *Mamoru HOSAKA*

報告 Reports

43 第17回全国高専プログラミングコンテスト同行の記　堀内征治
A Report on 17th 'KOSEN' Programming Contest *Seiji HORIUCHI (Nagano National College of Technology)*

47 IEEE Computer Society 60周年記念式典報告　中島秀之
Report of IEEE Computer Society 60th Anniversary Reception *Hideyuki NAKASHIMA (Future Univ. - Hakodate)*

50 スーパーコンピュータ SX 開発の思い出 ーS. Cray 賞の受賞にあたってー　渡辺　貞
Memoirs of Development of Supercomputer SX - On Receiving S. Cray Engineering Award- *Tadashi WATANABE (RIKEN)*

解説 Articles

53 リビングから始めるユビキタスー情報家電インタフェースー　橋本政朋・泉田大宗・森　彰
Ubiquitous Computers in Living Room - An User Interface System for Network Home Appliances - *Masatomo HASHIMOTO, Tomonori IZUMIDA and Akira MORI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))*

情報処理学会事務局本部
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F　Tel(03)3518-8374（代表）　Fax(03)3518-8375　E-mail:somu@ipsj.or.jp　http://www.ipsj.or.jp/
郵便振替口座　00150-4-83484　　銀行振込（いずれも普通預金口座）　　みずほ銀行虎ノ門支店　1013945　　三菱東京UFJ銀行本店　7636858
名義人　社団法人　情報処理学会

連載 Series

60 「情報学を創る」ー科研プロジェクトがめざしたもの　発足の経緯とその展開　安西祐一郎・安達　淳
Creating Informatics - What the KAKEN Project is Aming at : Introduction *Yuichiro ANZAI (Keio Univ.) and Jun ADACHI (National Institute of Informatics)*

62 「情報学を創る」ー科研プロジェクトがめざしたもの　新しいソフトウェアの実現 ー科研「情報学」プロジェクト A01 柱を振り返ってー　玉井哲雄・稲葉雅幸・外山芳人
Creating Informatics - What the KAKEN Project is Aming at : New Approaches to Software Construction - In Retrospect of Kaken Project on Informatics - *Tetsuo TAMAI, Masayuki INABA (The Univ. of Tokyo) and Yoshihito TOYAMA (Tohoku Univ.)*

77 これからの情報処理学会　選ばれる論文誌を目指して　平田圭二
Thoughts about the Future IPSJ : Toward a Select Journal *Keiji HIRATA (NTT Communication Science Labs.)*

82 これからの情報処理学会　産学連携と情報処理学会　阿草清滋
Thoughts about the Future IPSJ : Toward a Society as the Realm of Industry-university Cooperation *Kiyoshi AGUSA (Nagoya Univ.)*

85 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術　Web サービスの分散運用管理標準 ー WSDM　加藤英晴
Explanations of Web Service Standards from the Viewpoint of Grid Computing and Service Oriented Architecture : Web Services Distributed Management *Hideharu KATO (Hitachi, Ltd.)*

コラム Columns

59 標準化よもやま話　ビジネスと国際標準，その合意形成　廣川勝久
Small Talk on Standardization : Business and International Standards - Ways to Form Mutual Agreement *Katsuhisa HIROKAWA (ISO/IEC JTC 1/SC 17 National Committee of Japan / Electronic Commerce Security Technology Labs. Inc.)*

70 研究会千夜一夜　データベース 2.0 あるいはデータベースシステム研究会の今　石川　博
1001 SIG Nights : DATABASE 2.0 or the Present of Special Interest Group on Database Systems *Hiroshi ISHIKAWA (Shizuoka Univ.)*

72 研究会千夜一夜　要求工学の勧め（ソフトウェア工学からの発信）　海谷治彦
1001 SIG Nights : Requirements Engineering Researches in SIGSE *Haruhiko KAIYA (Shinshu Univ.)*

74 オープンソース事情　普及手段としての OSS プロジェクト　平林俊一
Open Source Phenomena : An OSS Project as a Means for Diffusion *Shun-ichi HIRABAYASHI (FUJITSU Ltd.)*

委員会から Committee Reports

95 IFIP ー情報処理国際連合ー近況報告　中島秀之・筧　捷彦・齊藤忠夫・青山幹雄

情報処理 48 巻の表紙デザインへは多くの方にご応募いただきありがとうございました．審査の結果，内田昇吾氏のデザイン案が採用されました．

情報処理表紙デザインにあたって

＜作品説明＞
　ディジタルの情報が地球を駆けめぐり，その情報が連鎖を繰り返し，日々刻々発達・膨張を繰り返し続ける世界をデザインしました．

内田昇吾
グラフィックデザイナー

その他

102 会員の広場
104 IPSJ カレンダー
106 人材募集
107 有料会告
109 有料会告について
111 おふぃすらん
114 平成 19 年度モニタ募集のお知らせ
115 アンケート用紙
116 編集室／次号予定目次
117 掲載広告カタログ・資料請求用紙
118 賛助会員のご紹介

規格部
　〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館 308-3　Tel(03)3431-2808　Fax(03)3431-6493　E-mail:standards@itscj.ipsj.or.jp　http://www.itscj.ipsj.or.jp/
支　部
　北海道／東北／東海／北陸／関西／中国／四国／九州

編集子独白

- editor's monologue -

情報技術が進むにつれて，最初のよちよち歩きが，いつの間にか何とか実用の領域にたどり着いたかと思うと，次の段階ではその応用が怒涛の迫力で実社会へ溢れてくる，という例が頻出するようになった．そのよい例が画像処理である．画像入力の技術が進歩し処理装置の性能が飛躍的に高まったことによって，画像の意味の分野にまでかかわることができるようになってきている．

今月号の特集は「安全と安心のための画像処理技術」．**前田賢一**，**土井美和子**がエディタ．まず自動車の周辺自動監視とドライバーの顔の向き検出を組み合わせた“不注意車線変更警報”などの話から始まり，普通の街中で使用できる汎用ステレオビジョン，エレベータ周辺の安全確保のための“待ち伏せ検知”と“暴れ検出”，介護者のための技術支援，一網打尽になりがちな街頭映像の処理へのアクセス権の導入などが続き，監視カメラで犯される権利は肖像権ではなく，“個人の行動の自由の権利”であるという主張からの議論で締める．社会が技術の進歩にあたふたしないようにしたいものだ．

「リビングから始めるユビキタスー情報家電インタフェースー」（**橋本政朋**，**泉田大宗**，**森彰**）は，「ニュースが見たい」と喋ると，その時点で放送されていればその番組が，されていなければ最新の録画が，それぞれ提供できるような概念体系が提案される．

「Webサービスの分散運用管理標準ーWSDM」（**加藤英晴**）は，Webサービスの基盤上でリソースやサービスを管理するための標準仕様．

『「情報学を創る」ー科研プロジェクトがめざしたもの「発足の経緯とその展開」』（**安西祐一郎**，**安達淳**）は，5年間続いた科学研究費のプロジェクトの概要紹介．内容については今月号から連載される．「新しいソフトウェアの実現ー科研「情報学」プロジェクト A01柱を振り返ってー」（**玉井哲雄**，**稲葉雅幸**，**外山芳人**）はそのトップバッター．計算資源の有効活用による，高信頼性ソフトウェア開発の高生産性の追及，といった内容．

シリーズ“これからの情報処理学会”の今月号の分は，論文誌の越し方行く末を論じている「選ばれる論文誌を目指して」（**平田圭二**）と，主に論文に着目した「産学連携と情報処理学会」（**阿草清滋**）の2稿．いずれも考えさせる内容である．

シリーズ“研究会千夜一夜”としては，「データベース2.0あるいはデータベースシステム研究会の今」（**石川博**）と「要求工学の勧め（ソフトウェア工学からの発信）」（**海谷治彦**）をいただいた．

「ビジネスと国際標準，その合意形成」（**廣川勝久**）は“標準化よもやま話”のシリーズ．合意形成テクニック（？）と標準化活動への参加の薦め．

「普及手段としてのOSSプロジェクト」（**平林俊一**）は“使えるミドルウェアの開発”の紹介．

「第17回全国高専プログラミングコンテスト同行の記」（**堀内征治**）は2006年10月に行われた“プロコン”について．NHK主導のロボコンとほぼ同期間続いているイベント．

「IEEE Computer Society 60周年記念式典報告」（**中島秀之**）は，3時間の式典のためだけにサンディエゴ往復をした苦労話，ではなく式典の様子の紹介．

同じ会での受賞記念講演が「IEEE-CSコンピュータ・パイオニア・アワード受賞講演」（**穂坂衛**）．MARS101の開発話が興味深い．

「スーパーコンピュータSX開発の思い出ーS. Cray賞の受賞にあたってー」（**渡辺貞**）では，幻と終わった並列プロセッサ構成でのメモリ（257個）の配置が面白かった．

「IFIPー情報処理国際連合ー近況報告」（**中島秀之**他）もある．（*Kuwm*）

会誌編集委員会
編 集 長
川合　慧
担当理事
石田　亨
長谷川　亨
本号エディタ
安達　淳
天野　真家
大谷　真
片山　博
兼宗　進
木戸　彰夫
久門　耕一
胡　振江
坂井　修一
白木　善尚
田中　哲朗
田中　穂積
土井美和子
比屋根一雄
前田　英作
前田　賢一
間瀬　久雄
三浦健次郎
安信千津子

編集スタッフ
後路　啓子
町田　善江
綿谷　亜樹

Copyright 2007 IPSJ
本誌に出てくる製品名等は，各社の商標または登録商標です．